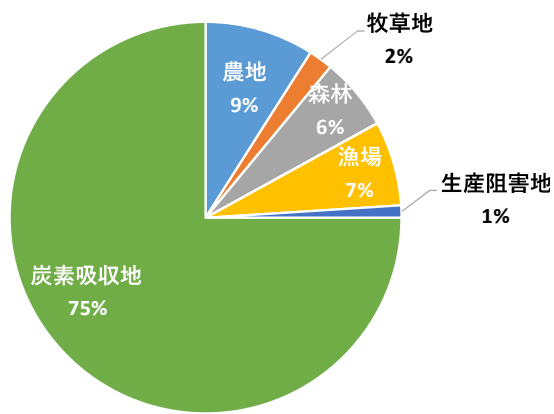
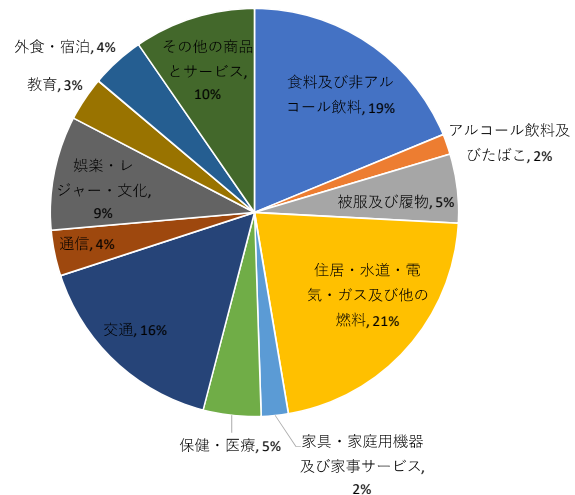




日本



【土地利用別】

【消費項目別】

出典：「グローバル・フットプリント・ネットワーク、2021 消費土地利用マトリックス（日本）2021 版

www.footprintnetwork.org」のデータを基に作成

このほか、大阪市で地産地消を実現するには、大阪市 197 個分の生態系サービスの供給量が必要であることが分かりました。大消費地である大阪市で暮らす私たちの生活は、製品やサービス、エネルギーの供給を、市域外の生態系サービスに大きく依存している状態となっています。

表 大阪市の消費項目別エコロジカル・フットプリント超過レベル

ランク	消費項目	エコロジカル・フットプリント超過倍		
		合 計	直接利用	間接利用
1	住居・水道・電気・ガス及び他の燃料	47.6	20.8	26.9
2	食料及び非アルコール飲料	38.9	32.0	6.9
3	交通	20.9	13.0	7.9
4	娯楽・レジャー・文化	19.1	13.7	5.4
5	その他の商品とサービス	18.6	7.7	11.0
6	外食・宿泊	11.6	9.9	1.7
7	被服及び履物	9.7	7.1	2.6
8	通信	8.3	6.1	2.2
9	教育	7.8	5.0	2.8
10	保健・医療	7.8	2.1	5.7
11	アルコール飲料及びたばこ	3.6	2.9	0.8
12	家具・家庭用機器及び家事サービス	2.8	1.5	1.3
合 計		196.9	121.7	75.2

直接利用：対象となる項目を直接的に消費するもの

間接利用：対象となる項目に対して製造や輸送など波及的に影響を与えるもの

※本エコロジカルフットプリントの算定には「グローバル・フットプリント・ネットワーク、2021 消費土地利用マトリックス（日本）2021 版（www.footprintnetwork.org）」を用いた。